

第3回（2022年度）テラヘルツ科学技術振興基金助成募集要項

趣旨

テラヘルツ科学技術振興基金は、我が国のテラヘルツ科学・技術を発展させ、応用分野を開拓・普及し、産業・社会の発展に貢献することを目的として、テラヘルツテクノロジーフォーラムが出資母体となり、日本学術振興会テラヘルツ波科学技術と産業開拓第182委員会、日本赤外線学会の協力のもと、2020年5月末に設立されました。本基金は、これら設立にかかわった団体からの代表者で構成される管理運営委員会により、以下の事項に対する助成を行います。

- (1) テラヘルツ科学・技術に関する会議の助成
- (2) テラヘルツ科学・技術分野の若手等の人材育成
- (3) テラヘルツ科学・技術に対する貢献への表彰
- (4) テラヘルツ科学・技術に関する調査
- (5) テラヘルツ科学・技術の産業利用、製品化支援
- (6) テラヘルツ科学・技術に関する産学官連携促進
- (7) その他、テラヘルツ科学・技術振興に資するもの

このたび本基金による第3回(2022年度)の助成を下記の内容で募集いたします。

記

1. 助成対象

テラヘルツ科学・技術に関する

- (a) 会議開催
- (b) 学会参加
- (c) 海外研究者招へい
- (d) 調査
- (e) その他

2. 助成期間

2022年4月1日(採択通知日予定日)～2023年3月31日

ただし、助成対象(a)、(d)および(e)については、必要に応じて1年を限度に助成期間を延長することができる。

3. 助成金額

2022年度助成金総額 150万円(予定)

4. 助成の詳細

(a) 会議開催

国内会議、国際会議の開催費用の一部を助成する。

国際会議1件50万円、国内会議1件20万円を限度とする。

【対象となる経費】:会場費, 事務委託費, 実行委員会会議旅費(交通費, 宿泊費), 等

(b) **学会参加**

国内会議，国際会議に参加する国内の日本の大学・研究機関に所属する若手研究者^{備考1}
(学生^{備考2}を含む)の参加費・派遣旅費(交通費，宿泊費)の一部または全額を助成する。

【(b-1)学会参加費】:国際1件6万円(学生4万円)，国内1件1万円(学生6千円)を限度とする。

【(b-2)派遣旅費】:海外1件30万円(学生20万円)，国内1件6万円(学生4万円)を限度とする。

備考1:「若手研究者」は科研費の若手研究者の定義に準じる。

備考2:「学生」は博士後期課程に属する学生

(c) **海外研究者招へい**

海外から研究者^{備考3}を日本国内に招へいする旅費(交通費，宿泊費)の一部または全額を助成する。

【(c-1)アジア・東南アジア地域】:1件15万円を限度とする。

【(c-2)それ以外】:1件30万円を限度とする。

備考3:大学等の公的な研究機関に所属する研究者とする。

(d) **調査**

調査費用の一部を助成する。

1件20万円を限度とする。

【対象となる経費】:調査に必要な旅費(交通費，宿泊費)，文献・データ購入費用，会議費用(会議室借料、オンライン会議利用料)、通信費、報告書印刷費(電子媒体を含む)，等

(e) **その他**

テラヘルツ科学・技術の振興に資する産業利用、製品化支援、産学官連携促進などの取組費用の一部を助成する(大学・国公研等が制度として実施する民間企業等との共同研究、委託研究への支援は対象外とする)。

1件50万円を限度とする。

【対象となる経費】:取組に必要と認められる費用。試作費，運送費，資料作成費，サーバー借料，インターネット利用料，旅費(交通費，宿泊費)，会議費用(会議室借料，オンライン会議利用料)，通信費，等

5. **経費使用の注意点**

i) 本基金からの助成金額は必要経費の総額以内とする。

ii) 不足分を他の助成金と合わせての使用可。ただし，同一の経費に対する重複支出は不可。

6. **申請資格**

(b)については個人申請に限る。それ以外の申請はその事業または取組の代表者とする。

7. **申請方法**

書類: 申請書(様式1)を電子メールにて提出する

応募期間: **2022年1月10日から2022年2月28日 正午必着**

提出先: 電子メールの件名を「テラテク基金 助成金申請 [助成対象名]」とし，応募書類を電

子ファイルでテラヘルツ科学技術振興基金取り扱い担当宛にご提出ください。

テラヘルツ科学技術振興基金取り扱い担当:teratechoffice@terahertzjapan.com

8. 選考と決定

本基金の管理運営委員会で審議し、助成対象と助成金額を決定します。
採否結果を申請者に電子メールで通知します(2022年4月1日 予定)。
なお、採択された助成対象と助成金額は基金の HP 上で公開します。
採択後、実施計画書(様式2)を提出していただきます。

9. 助成金の支払い

実施計画書(様式2)の提出があつてから、内容確認の上1~2週間後に、申請者本人名義の指定口座に振込みます。

10. 報告書の提出

実施期間終了後、実施報告書(様式3)、助成対象経費に関する証憑書類(領収書コピー等)を提出していただきます。
申請時から状況が変わり実施計画が変更された場合は、すみやかに基金取り扱い担当まで変更内容を電子メールで連絡してください。変更連絡が適切に行われなかった場合は、助成金の返還対象となる場合がありますので、ご留意ください。
なお、実施報告書および助成金使途明細は基金の HP で公開いたします。

11. 助成金の返還

実施計画書に記載の通りの取組や実施を行わなかった場合、その他助成の趣旨に反した行為を行った場合には、助成金の全額または一部を返還していただきます。

12. 提出書類の様式

申請書(様式1)・実施計画書(様式2)・実施報告書(様式3)の様式は、基金の HP からダウンロードして下さい。

13. その他

(提出書類の扱い)

提出された書類は、助成の対象から漏れた場合であっても、お返しできませんのでご了承下さい。

(個人情報の取扱い)

提出された書類は審査目的以外に使用されることはありません。

14. 管理運営委員会 委員 (五十音順・敬称略)

委員長 谷 正彦(テラヘルツテクノロジーフォーラム会長)

委員 大谷知行(テラヘルツテクノロジーフォーラム副会長)

委員 高橋宏典(テラヘルツテクノロジーフォーラム副会長)

委員 太田仁(日本赤外線学会会長)

委員 廣本宣久(日本学術振興会テラヘルツ波科学技術と産業開拓第182委員会委員長)

15.

問い合わせ先

テラヘルツテクノロジーフォーラム事務局

テラヘルツ科学技術振興基金取り扱い担当

TEL: 070-5658-7626 FAX: 020-4622-1920

E-mail: teratechoffice@terahertzjapan.com

<http://www.terahertzjapan.com>